



▲ふるさとの味覚に舌鼓をうちながら楽しむステージ

秋色深まる美山町で、ふるさと美山の活性化を図る「美山ふるさと祭」が開催されました。南丹市立宮島小学校グラウンドを会場に、美山の郷土食や特産品などのテントが並び、スキップ楽団のゆかいな音楽ステージには子どもたちも参加、お楽しみ福引き大会など大人も子どもも一緒に楽しみました。また、同日開催された「第9回美山かやぶきの里ワンデーマーチ」では、たくさんの方が秋の風景をめりながらそれぞれのペースでウォーキングを楽しみました。

「大人も子どもも秋色の美山を満喫」

11/3 美山ふるさと祭

バレーからビーチバレーに転向、北京・シドニー五輪出場の佐伯美香選手による「トーク&スポーツクリニック」（NPO法人八木町スポーツ協会主催）が丹波勤労者福祉会館で行われました。豊富な経験を生かし、市内の少年少女にバレーボールを実技指導。その後、講演会では母校京都成安高校（現：京都産業大学附属高校）の恩師南元昭治氏との思い出話や厳しい練習秘話、結婚・出産後の現役復帰など、負けず嫌いの気持ちが支えたアスリート人生が語られました。

「『負けず嫌い』のアスリート人生」

10/26 八木町スポーツ協会講演会



▲恩師南元氏(左)と高校時代の思い出を語る佐伯選手

「感動が生む、ものの新たな価値」

11/16 感動創造ものづくりシンポジウム



▲「感性価値」について討論するパネラー

これからの新しいものづくりについて考えるシンポジウムが京都伝統工芸大学校で開催されました。およそ120人が出席の下、トヨタ自動車の松本謙悟氏による基調講演や、京都国際工芸センターの黒竹理事長や近畿経済産業局高木参事官ら5人によるパネルトークが行われました。国際社会で生き残るためには価格や機能の価値以外に、感性に働きかけ、感動や共感を得ることによって現れる「感性価値」が必要になると、南丹市の新たなものづくり拠点「京都新光悦村」の発展を見据えた提言がされました。

「各店舗をアピール！職人技を披露、体験」

11/9 南丹市商工会青年部祭

自分たちの店や技をアピールし、商工会青年部のパワーを地域振興に役立てようとする青年部祭が園部町宮町シンボルロード一帯で開催されました。

昨年4月に旧4町商工会が合併し、市内の商工会青年部員が合同で企画。ブースごとに生菓子製造体験や髪を切るサービス、壁塗り体験など、培われた技術を生かした催しが会場いっぱいに繰り広げられました。

FMラジオでおなじみのDJを司会に迎え、ゲーム機など各店舗からの賞品が並ぶ抽選会も盛り上がりを見せていました。



▲壁塗り体験やタイルのコースター作りに挑戦！